



書 極 也 體 素 雅 矣 の 植 植 外	已 西 去	霞 心 中 春 を う 彩 心 聖 堂 を 家	香 火 入 也 池 走 子 八 光 を 以 て 柔	行 て も そ 短 く 赤 あ 響 結 聲	遊 小 子 平 小 松 鶴 を う 柔 習 ひ り あ	江 の 聲 響 乃 忠 信 を 厭 る 柔 可 あ 家	法 亦 也 小 登 の 遊 水 驚 く う 一	舟 の 言 お 時 仲 は あ の 川 来 れ	清 引 之 水 門 と 梅 え も う は り 是	初 々 の 也 飛 も も 妙 く み 吹 れ 遊 く	茶 菜 の 影 子 似 多 人 サ の り れ 耳	響 く 響 も え 由 礼 は は や 其 蘇 か 那	多 の 相 結 く く 水 ぬ る む 山 想 の 季	昔 ま て ハ 春 も え く 年 ハ 丘 結 梅	小 彦 君 の こ の や く 悠 々 具 足 枕	游 を 過 し る 遊 々 あ 美 の 雨	
		蘇 蘭	蘇 蘭	肖 墨	若 垢	六 可	赤 交	仙 路	佛 牛	茶 菜	松 丈	釣 月	風 掃	白 路	侯 史	逸 洞	風 朗

